



一足早く春らんまん

田原で「花フェスタ」開幕

花に親しみ楽しむイベント「あいち花フェスタ in 東三河」が9日、4日間の日程で田原市総合体育館と田原文化会館を会場に開幕した。全国屈指の花産地で知られる田原では初開催。東三河地域では2012(平成24)年に蒲郡で開催されて以来6年ぶり。

国や県の調査によると、都道府県別花き産出額(2016年)は愛知県が572億円で55年連続全国1位。2位で187億円だった千葉県の約3倍となる。東三河は、県内地域別産出額(2015年)の割合で71%を占めるほど生産が盛んな地域で、品質の評判も高いという。

イベントは、菊やカーネーション、ガーベラ、スイートピー、バラなど、東三河を中心に県内各地の花を使った大規模展示や花の体験教室などが楽しめる内容で、期間中はステージイベントがあるほか、屋外駐車場では「東三河グルメ祭り」も同時開催される。

(千葉敬也)

「あいち花フェスタ in 東三河」の会場風景―田原市総合体育館で

9日には開幕式典が会場であり、主催者として大村秀章県知事や東三河4市の市長らがテープカ